



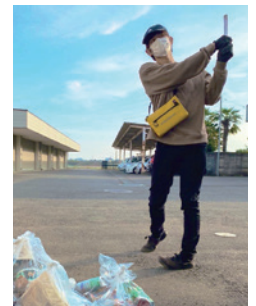
新4号国道の五霞交差点周辺には、大量のごみが捨てられていました。しかし、最近はごみが目立たずきれいになっています。これは3人の若者が始めた朝の清掃活動の成果です。今回は「キラリ」と輝く若者に話を聞きました。



五霞町への思いが集結
1年前は3人ともお互い顔も名前も知りませんでした。「五霞町をよくしたい!」「五霞町で何かしたい!」「五霞町にはまだ可能性がある!」



町内在住の香取さん(左)
町内在住で町職員の尾白主事(右)



町内で農業を学ぶ
佐久間さん



「五霞町には何も無いからと、若い人がどんどん町の外へと出て行ってしまうけど、ないなら作ればいいじゃん」
そんな若者らしい夢の語り合いが活動を始めたきっかけでした。資金もノウハウも何もない自分達に出来ることを考えたとき、まずは何かを始めようとごみ拾いをスタートしました。

若者のチャレンジが町をきれいに

それぞれの想いを抱えた3人が2021年に縁あって出会いました。



時には活動前に好きな
コーヒーを楽しんでいます

小さな町だからこそ、若い人達が「チャレンジ」できる町にしていきたい。その第一歩として、毎朝のゴミ拾いにチャレンジしてきました。一緒にごみ拾いに参加してくれる人もいて輪が広がっています。



若者が集まれる場所を作りたい

毎朝、ゴミ拾いをしていると声をかけてくれるドライバーさんや、ゴミ袋を差し入れてくれる通勤の女性など、人の温かさや優しさを肌で感じました。

私たち若者が五霞町の内と外を繋いでいきたいと考えています。その最初の一步として、現在、若者が集まれる場所づくりに取り組んでいます。

組織や様々な枠を超えたチャレンジができる、そして人々が繋がる温もりのある町を一步一步目指していきたいです。

活動について発信していますので、興味のある方はぜひこちらをご覧ください。



Twitter



Instagram